

# 授業の玉手箱

文部科学省指定 英語教育改善のための調査研究授業  
大阪府立泉陽高等学校 公開授業

報告：中井弘一

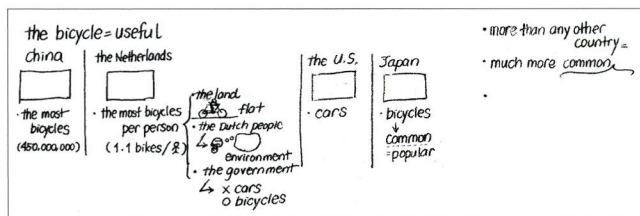
去る1月22日、文部科学省指定英語教育改善のための調査研究授業として、大阪府立泉陽高等学校で「総合英語」と「英語I」との二つの公開授業が行われた。当校の研究授業の研究テーマは「思考力・分析力を鍛えるリーディング指導とそのための語彙・文法指導のあり方」である。本事業の運営指導委員の一人として、今回、「英語I」を担当された福島玲枝先生とは時間調整がうまくいき、研究テーマに沿った授業をどう設計するかについて事前に2回話し合うことができた。当日の福島先生の授業はスピーディ、スキルフルかつパワフルで授業参観者一同を圧倒するものであった。

今回、授業準備に非常に熱心な福島先生と話し合った授業設計のポイントのいくつかなどをここに紹介し、玉手箱としたい。

最初に行った作業は、徹底した教材の読み込みであった。The Bicycle - The Most Advanced Vehicle Ever Created - という教材を思考のプロセスから、「語法・文法」というfunctionの観点と教材の理解・整理・分析というcontentをベースにする観点から本課の解釈に努めた。テキストで使われている自転車のadvanced, efficient, usefulとはどのような基準から考えられるかを本課の思考力育成の柱とする。添付されている表やグラフの読み取りから何が導き出せるか考えさせる。セクションのメッセージを問いかけによるインターアクションを通してアウトラインマップにまとめ、生徒にテキストを整理する能力をつけるなどを考えた。その上で、授業のProcedureは次のよう設定された。

- (1)Greetings
- (2)Words' Quiz from the wordbook ( 英単語・熟語 EG3000)
- (3)Review of the Previous Lesson
  - Phrase Search
- (4)Comprehension of Today's Parts
  - Oral interaction for thinking activation
    - ・ Asking questions on the contents
    - ・ Making an outline map
    - ・ Analyzing the graphs
- (5)Consolidation 1: Reading Aloud
  - (to confirm the understanding of the paragraphs)
  - Chorus Reading, Buzz Reading, Pair Reading
- (6)Consolidation 2: Pair Practice and Presentation
  - Summarizing main ideas
  - Oral Presentation in pairs

下図はoral interactionで本文をまとめる板書計画である。



目前でテキストの内容を整理し、構造化することはリーディングにおける思考力の育成に繋がるものであった。

福島先生の50分間の授業で、ペースダウンされた方が生徒の発言をもっと引き出せたかなと思われる場面もあったが、公開授業ゆえできるだけ多くのことを見せたいと意欲的に授業を進められた。発話というアウトプット活動を常に授業終了時に設定されており、用意された挿絵を参考に順番を自分で考えテキストのサマリーを口頭でペアで話させるプロダクション活動を行って授業を締めくくられた。

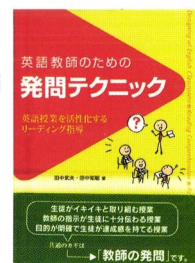


## 【福島玲枝先生（現在：関西大学中部部・高等部）より】

いただいた数々のアドバイスから再認識したのは、「教材を『面白く』切り込む重要性」、そして「活動に生徒の発想の余地を盛り込む大切さ」です。「知りたい」→「読みたい」「面白い」→「話したい」となるコミュニケーションの基本に立ち返り、これらを抜かしていかなる活動もあり得ないことを改めて実感しました。

## 書籍紹介

田中武夫・田中知聡 (2009) 『英語教師のための発問テクニック：英語授業を活性化するリーディング指導』大修館書店 2,200円



教師は常に授業の中で発問を通して生徒に働きかけている。発問は授業の重要な構成要素であることは言うまでもないが、発問を軸にして授業を構造化しようというアプローチは稀有である。いわば逆転の発想であるが、英語リーディング指導における発問のテクニックを紹介した本書は、授業の在り方の本質にそつなく迫っている。

本書では、発問を中心とした授業づくりのプロセスを、1)教材の解釈、2)生徒の把握、3)目標の設定、4)発問の考案の4段階に分け、各段階でのポイントを実際の教材に沿って具体的に説明している。教師が周到に準備した発問を通して、教材に対して生徒が心を開くように動機付け、メッセージの正確な理解を促し、内容理解を深化させ、さらには表現活動へと発展させていくことが可能となる。

リーディング指導の展開の基本に則って、要所を押さえた問いかけをするコツを紹介している本書は、英語授業“名人”への道を切り開いてくれるかもしれない。教師が傍らにおいて日々の授業改善の即戦力となる一冊である。 (東條加寿子)

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学  
教員養成センター Teacher-training Center

中井弘一

中垣芳隆、東條加寿子、夫美美

浅田晋太郎、津戸真弓

540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26番54号

Tel: 06-6761-9371 Fax: 06-6761-9373

Homepage: <http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc>

e-mail: [ttc@wilmina.ac.jp](mailto:ttc@wilmina.ac.jp)